



池田消防署新庁舎が完成

池田消防署落成式が4月16日、池田町ウエノで行われ、みよし広域連合長の川原義朗東みよし町長をはじめ関係者が集まり、完成を祝いました。新庁舎は、鉄筋コンクリート造で地下1階、地上3階建て、延べ1346平方メートル、総事業費約5億円。地下には車庫、1階は出動準備室、2階には排気ガス排出装置、3階には通信機械室や災害時の一時避難場所としても活用できる会議室などを設けています。また、停電時、主要電力を72時間賄える自家発電設備も整備されており、地域の安全安心の拠点施設として新たなスタートを切りました。

西井川小学校が完成

西井川小学校の竣工式が4月16日、同小学校の体育館で開かれ、児童、市や工事関係者などが出席し、新たな学びの完成を祝いました。新校舎は木造一部鉄筋コンクリート2階建てで、環境教育の一環として体育館には太陽光パネルが設置されています。式典では、黒川市長の式辞や工事に携わった方への感謝状の贈呈、校舎建築に至る経緯報告などが行われた後、児童代表の石井月渚さんが「素敵な校舎を感謝しながら大切に使いしていきたい」とお礼の言葉を述べました。最後に、児童らが校歌を高らかに歌い上げ、新しい校舎の完成を祝いました。



絵本で心触れ合うひとときを

三好市に生まれたすべての赤ちゃんに絵本を贈る「ブックスタート事業」が4月8日、市保健センターで乳児股関節脱臼検診に併せて始まりました。ブックスタートボランティアの方や図書館の職員が検診の終わった親子に絵本の読み聞かせを行い、おすすめの絵本2冊と読み聞かせの大切さやポイントなどをまとめた冊子などを手渡しました。

赤ちゃんはお母さんの膝の上で、絵本に興味深そうに触ったり読んでくれる人をじっと見つめて声に耳を澄ませたりして、うれしそうな表情を見せ、絵本を介して心触れ合うひとときを過ごしました。

多彩な芸能や芸術を披露



第9回三好市文化まつりが4月25日26日の2日間、市中央公民館を主会場に開催されました。初日は洋楽・邦楽の部として三味線や詩吟などが、市文化協会に加盟する各地区の団体や個人の方が日ごろの練習の成果を披露しました。山城妖怪音頭の民謡が始まると児啼き翁と大天狗が現れ、観客は突然の妖怪の登場に手拍子をしたり、一緒に踊ったりと楽しんでいました。また、ヨンデンプラザ池田では華道作品や市中央図書館では和紙ちぎり絵が展示され、文化に触れる2日間となりました。

池田ダムの流木チップを配布



出水などにより池田ダムに漂流した流木を集めて堆肥用に加工したチップが4月22日、池田ダムイタノ流木処理場で無料配布されました。この無料配布は、独立行政法人水源機構池田管理所が毎年行っており、今回は200立方メートルが用意されました。9時の配布開始前から100台以上の車が並び、トラックの荷台や持参した袋にチップを積み込んでいました。来年の1月下旬には、流木を再資源化した薪も配布予定です。

プルタブで車いすを寄贈



井川中学校ボランティア委員会が集めた空き缶のプルタブと交換した車いす1台を3月20日、三好市養護老人ホーム敬寿荘へ寄贈しました。プルタブ800kg(約160万個)で車いす1台分となります。車いすは、井川中学校ボランティア委員会より敬寿荘の利用者代表に手渡され、代表者からは「大切に使用させていただきます」と感謝の言葉がありました。井川中学校ボランティア委員会では、プルタブを集めています。この運動にご協力いただける方は、ご連絡ください。

カラフルなイースターエッグが完成

イースターエッグ&バウムクーヘン作りに挑戦する催しが4月25日、池田町西山にある只安ふれあい市場で開催されました。青空が広がるこの日、三好市内外から親子連れ16名が参加し、卵の殻に好きな色を塗り、シールや毛糸を貼ったり絵の具で絵を書いたりして思い思いの装飾をし、たくさんのカラフルなイースターエッグができました。また、棒に生地をつけ炭火の上で焼き目をつける行程を繰り返し、1時間後には直径20センチほどのバウムクーヘンが完成し、参加者で美味しくいただきました。



決意を新たに新規学卒就職者

三好市内の事業所に就職した若者を激励する三好市新規学卒就職者歓迎式が4月21日、池田総合体育館で行われました。三好市と三好市商工会および阿波池田商工会議所が主催したもので、今年は市内19事業所38人のうち、24人の就職者が出席しました。黒川市長らの歓迎の言葉の後、有限会社データプロの真鍋菜さんが新規学卒者を代表して、「与えられた仕事に全力を尽くし、最善の努力をいたします」と決意を述べました。式の後には、接遇対応の研修が行われ、社会人としての身だしなみや言葉使い、電話応対などを学びました。